

第2回新時代とやまハイスクール構想検討会議

日 時：令和7年6月3日（火）10:30～12:00

場 所：県庁4階大会議室

次 第

1 開 会

2 知事挨拶

3 協 議

（1）大規模校（埼玉県立伊奈学園総合高等学校）における教育の現状について

（2）大規模校の設置方針などについて（非公開予定）

4 閉 会

<配付資料>

資料1 大規模校(埼玉県立伊奈学園総合高等学校)における教育の現状

大規模校(埼玉県立伊奈学園総合高等学校)における教育の現状

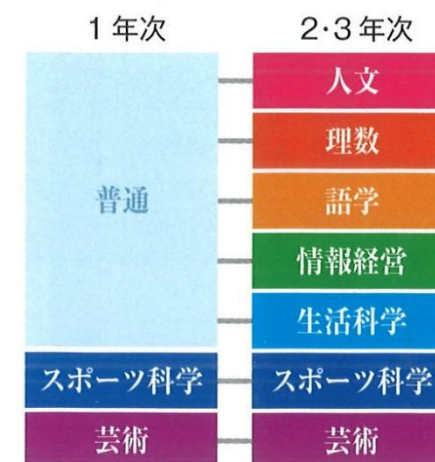
1. 埼玉県立伊奈学園総合高等学校(埼玉県北足立郡伊奈町)

① 学校概要

- ・併設型中高一貫教育校 中学校2学級、高等学校普通科20学級(うち内部進学生2学級)
- ・昭和59年4月 開校(全国初の公立全日制の総合選択制普通科高校)42年目
- ・平成15年4月 伊奈学園中学校開校
- ・目指す学校像: 生徒一人一人の個性と資質・能力を伸張し、切磋琢磨する中で高い志を持って希望をかなえる生徒を育成する学校

② 特色ある取組

- ・193の講座を設置し、多様な学習活動を展開している。
- ・系統的な科目選択ができるようにガイドラインとして「学系」を設定。2年次より7つの学系(人文・理数・語学・情報経営・生活科学・スポーツ科学・芸術)に分かれ、「自分だけの時間割」で学ぶことができる。
- ・「スポーツ科学」と「芸術」以外は「普通学系」として一括募集。
- ・クラスは7つの学系の生徒が混ざり、3年間クラス替えがなく、担任も原則変わらない。
- ・小規模な生活単位となるハウス制(各学年4クラス計12クラスで構成)をとる。体育祭、文化祭においてハウス対抗の取組をするなど生徒間の親密性を担保する仕掛けを持つ。
- ・部活動は55部(運動部23部、文化部24部、同好会8部)あり、活動が盛ん。



③ 施設設備等

- ・東京ドーム約3個分の広大な敷地には、専門的な授業に対応する施設・設備や、競技専用のグラウンド・体育館がある。
- ・各校舎も広い廊下でつながっており、雨天時でも上履きのまま校舎を移動できる。
- ・学習センター(自習室)や学習コーナーがあり、朝早くから生徒が利用できる。

④ 成果

- ・多様な生徒と出会うことで、生徒一人一人が様々な価値観を認め合い、視野を広げることができている。
- ・様々な専門分野の教員が集まるため、教員同士が切磋琢磨できる環境となっている。
- ・教職員が生徒達の活躍の場を作ることを意識として持っており、生徒達の多様なニーズに応えることができている。
- ・進路状況としては、きめ細かく丁寧な進路サポートをしており、東京大学にも合格者を出している。
- ・令和7年度「DXハイスクール(グローバル重点型)」の採択を受けた。グローバルに活躍するデジタル人材の育成に取り組む予定。

(参考1) 埼玉県立伊奈学園総合高等学校_令和7年度学校案内より抜粋

1 年次

必修科目を中心に、
基礎学力を定着させます。

	月	火	水	木	金
1	現代の国語	芸術Ⅰ	家庭基礎 家庭総合(1)	生物基礎	論理・表現Ⅰ 総合独仏中Ⅰ
2	論理・表現Ⅰ 総合独仏中Ⅰ	芸術Ⅰ	家庭基礎 家庭総合(1)	英語 コミュニケーションⅠ	保健
3	数学Ⅰ	化学基礎	歴史総合	言語文化	言語文化
4	英語 コミュニケーションⅠ	数学A	体育	数学A	生物基礎
5	体育	言語文化	英語 コミュニケーションⅠ	化学基礎	歴史総合
6	体育	英語 コミュニケーションⅠ	数学Ⅰ	現代の国語	数学Ⅰ
7	LHR	総合的な 探究の 時間			

2 年次

基礎学力の充実を図るとともに、
学系毎の選択科目を中心に、
自分の目指す方向へ一歩踏み出します。

	月	火	水	木	金
1	公共	体育	英語 コミュニケーションⅡ	情報Ⅰ	芸術Ⅱ
2	英語 コミュニケーションⅡ	体育	公共	英語 コミュニケーションⅡ	芸術Ⅱ
3		地理総合			
4		英語 コミュニケーションⅡ			
5				地理総合	情報Ⅰ
6				保健	体育
7	LHR	総合的な 探究の 時間			

3 年次

自由選択科目を中心に学び、
希望進路や
「なりたい自分」につなげます。

	月	火	水	木	金
1			英語 コミュニケーションⅢ		
2			英語 コミュニケーションⅢ		
3				体育	
4				体育	
5					英語 コミュニケーションⅢ
6					英語 コミュニケーションⅢ
7	LHR	総合的な 探究の 時間			

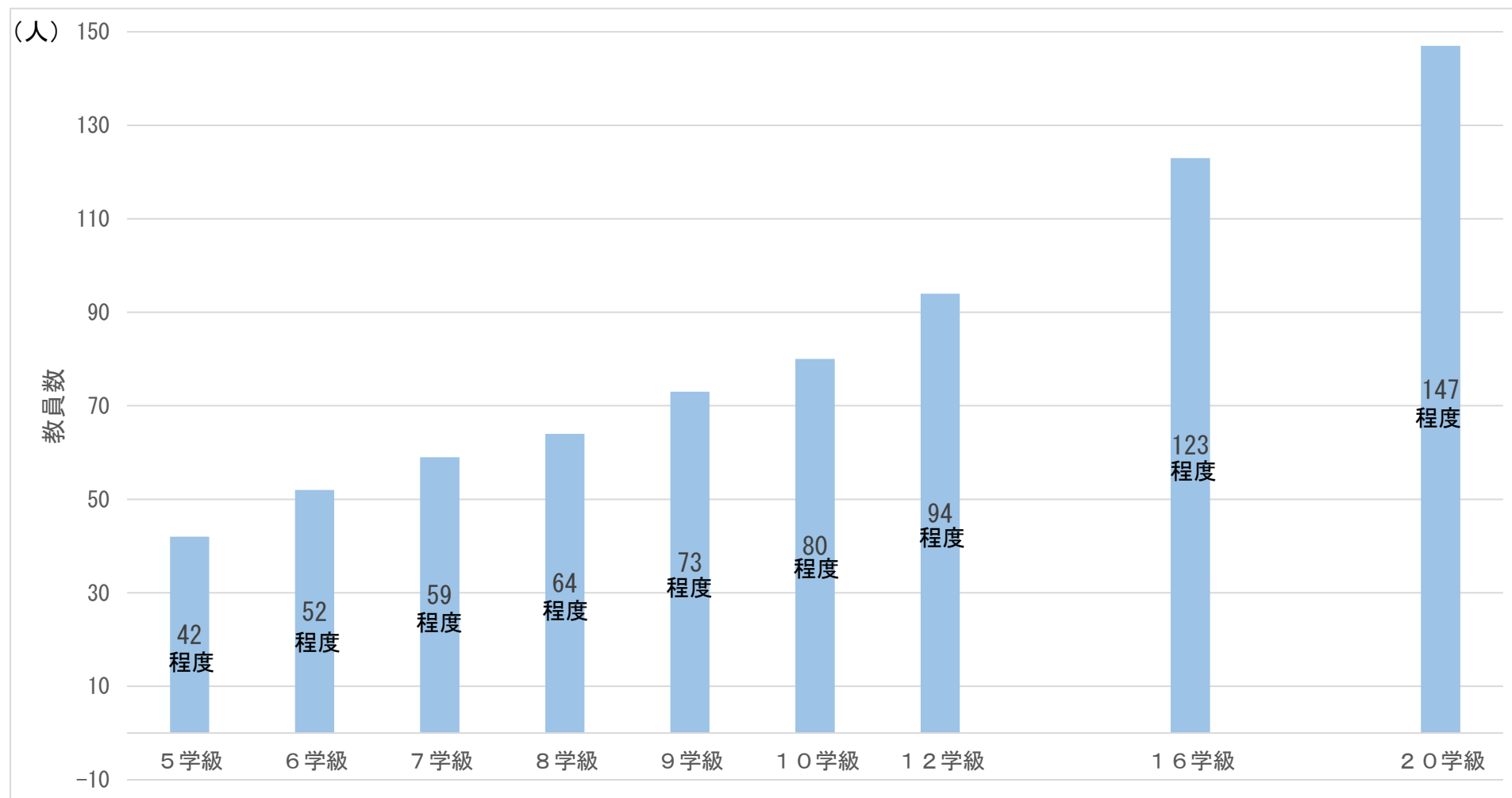
■ は全員共通の必修科目です。■ は選択科目で、右記[選択科目群]から科目選択をして、各自の時間割を作成します。
選択科目は、学系によって学系指定選択科目と自由選択科目の枠が異なります。

各学系・各教科の特色を生かした専門性の高い授業を実践しています。

合計 193 の講座（必修 23、選択 170）を設置し、一人ひとりの個性と学力を最大限伸ばします。

国語	現代の国語 言語文化 論理国語 A 論理国語 B 現代文演習 文学国語 A 文学国語 B 近代の文学 古典探究 b 古典探究 a(1) 古文講読 漢文講読 古文演習 漢文演習 古典探究 a(2) 総合現代文 日本語 総合古典	理科	化学基礎 生物基礎 物理基礎 地学基礎 地学基礎 (H) 物理 I 物理 I (H) 物理 II 物理演習 化学 I 化学 I (H) 化学 II 化学演習 生物基礎演習 生物 I 生物 I (H) 生物 II 総合生物 生物演習 地学基礎演習 地学 総合地学	芸術	音楽 I 美術 I 工芸 I 書道 I 音楽 II 美術 II 工芸 II 書道 II 音楽 III 美術 III 工芸 III 書道 III	外国語	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 論理・表現 I 論理・表現 I (2年) 論理・表現 II	家庭	家庭基礎 家庭総合 (1) 家庭総合 (2) 生活産業基礎 生活と福祉 ファッション造形基礎 I ファッション造形基礎 II 服飾手芸 フードデザイン I フードデザイン II 食文化 栄養 保育基礎 保育実践
	歴史総合 地理総合 世界史探究 I 世界史探究 I (H) 世界史探究 II 世界史探究 II (H) 日本史探究 I 日本史探究 II 地理探究 世界文化史 日本文化史		音楽理論 I 音楽理論 II ソルフェージュ I ソルフェージュ II 声楽 I 声楽 II 器楽 A I 器楽 A II 器楽 B I 器楽 B II 器楽 C 合奏		英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 論理・表現 I 論理・表現 I (2年) 論理・表現 II		ディベート・ディスカッション I ディベート・ディスカッション II グローバルイシューズ アカデミックライティング中級 アカデミックライティング上級 ニュースイングリッシュ中級 ニュースイングリッシュ上級 イギリス英語 オーストラリア英語		情報 I 情報課題研究
	公民		美術		ドイツ語		総合ドイツ語 I 総合ドイツ語 II 総合ドイツ語 III 論理・表現ドイツ語 ディベート・ディスカッションドイツ語 エッセイライティングドイツ語		商業 ビジネス基礎 商業課題研究 マーケティング ビジネス法規 簿記 A 簿記 B 財務会計 原価計算 情報処理 ソフトウェア活用 プログラミング ネットワーク活用
	数学		書道		フランス語		総合フランス語 I 総合フランス語 II 総合フランス語 III 論理・表現フランス語 ディベート・ディスカッションフランス語 エッセイライティングフランス語 リヨン仏語		農業 野菜・草花
数学	数学 I 数学 A 数学 II a 数学 II a (1) 数学 II a (2) 数学 II b 数学 III 理系数学演習 数学 B 数学 C 数学理解文系 数学理解理系	保健体育	体育 保健	美術	素描 I 素描 II 課題素描 絵画 I 絵画 II 彫刻 I 彫刻 II ビジュアルデザイン I ビジュアルデザイン II 木工 金工 陶芸 I 陶芸 II 美術総合研究	中国語	総合中国語 I 総合中国語 II 総合中国語 III 論理・表現中国語 ディベート・ディスカッション中国語 エッセイライティング中国語 天津中国語	教養人文	教養人文
	公共 政治・経済 I 政治・経済 II 倫理		スポーツ概論（基礎） スポーツ概論（応用） 採点・測定競技（基礎） 採点・測定競技（応用） 球技（基礎） 球技（応用） 武道（基礎） 武道（応用） ダンス（基礎） ダンス（応用） 野外活動 レクリエーション		素描 I 素描 II 課題素描 絵画 I 絵画 II 彫刻 I 彫刻 II ビジュアルデザイン I ビジュアルデザイン II 木工 金工 陶芸 I 陶芸 II 美術総合研究		総合中国語 I 総合中国語 II 総合中国語 III 論理・表現中国語 ディベート・ディスカッション中国語 エッセイライティング中国語 天津中国語		教養理数
	数学 I 数学 A 数学 II a 数学 II a (1) 数学 II a (2) 数学 II b 数学 III 理系数学演習 数学 B 数学 C 数学理解文系 数学理解理系		球技（基礎） 球技（応用） 武道（基礎） 武道（応用） ダンス（基礎） ダンス（応用） 野外活動 レクリエーション		素描 I 素描 II 課題素描 絵画 I 絵画 II 彫刻 I 彫刻 II ビジュアルデザイン I ビジュアルデザイン II 木工 金工 陶芸 I 陶芸 II 美術総合研究		総合中国語 I 総合中国語 II 総合中国語 III 論理・表現中国語 ディベート・ディスカッション中国語 エッセイライティング中国語 天津中国語		教養語学
	数学 I 数学 A 数学 II a 数学 II a (1) 数学 II a (2) 数学 II b 数学 III 理系数学演習 数学 B 数学 C 数学理解文系 数学理解理系		球技（基礎） 球技（応用） 武道（基礎） 武道（応用） ダンス（基礎） ダンス（応用） 野外活動 レクリエーション		素描 I 素描 II 課題素描 絵画 I 絵画 II 彫刻 I 彫刻 II ビジュアルデザイン I ビジュアルデザイン II 木工 金工 陶芸 I 陶芸 II 美術総合研究		総合中国語 I 総合中国語 II 総合中国語 III 論理・表現中国語 ディベート・ディスカッション中国語 エッセイライティング中国語 天津中国語		教養芸術

(参考2) 標準法※による学校規模別教員数の目安



※公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律に基づき普通科単独校（単位制）を想定し、算出（校長、教頭除く）

学級数が多いほど教員数が増加し、選択科目を多く開設することが可能になる。

2. 教育委員による伊奈学園総合高等学校の視察

①訪問日

令和7年5月14日(水)

②訪問者

富山県教育委員会	教育長	廣島 伸一
	教育委員	坪池 宏
	(教育長職務代理者)	
	教育委員	大西 ゆかり
	教育委員	黒田 卓
	教育委員	牧田 和樹

③内 容

- ・ 学校概要説明
- ・ 授業見学

生物Ⅱ、数学A
論理・表現ドイツ語、論理・表現フランス語
論理・表現中国語、英語コミュニケーションⅠ

- ・ 施設見学

3ハウスセンター（職員室）、
大体育館、第1体育館、柔剣道場、第2体育館、畑、
プール（プールサイドからグラウンドを見学）、芸術棟

- ・ 意見交換



授業見学①



授業見学②



東京ドーム3倍以上の敷地



全校生徒を収容できる大体育館



芸術棟（4階建て）の書道室

新時代とやまハイスクール構想検討会議設置要綱

(設置)

第1条 「新時代とやまハイスクール構想」基本方針（以下「基本方針」という。）に基づき、今後の県立高校づくりに関する検討を行うため、新時代とやまハイスクール構想検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討会議の基本方針に基づき、次の事項について検討する。

- (1) 各期に開設する新時代とやまハイスクールの方向性及び大規模校の設置方針に関すること
- (2) 第1期校の開設方針及びその開設に必要な再編統合に関すること
- (3) その他今後の県立高校づくりに必要な事項に関すること

(組織及び委員)

第3条 検討会議は、次に掲げる者を委員とする。

- (1) 富山県総合教育会議を構成する者
 - (2) 学識経験者、経済界関係者、学校関係者及び保護者のうちから、知事が委嘱した者
- 2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 3 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、その前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 検討会議に、会長1名、副会長1名を置く。

- 2 会長は、知事をもって充てる。
- 3 副会長は、会長が指名し、会長を補佐する。
- 4 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を代理する。

(会議)

第5条 検討会議は、知事が招集する。

- 2 検討会議の進行は、あらかじめ会長が指名した者が行う。
- 3 検討会議は、公開する。ただし、次の号のいずれかに該当する場合は、会長及び委員の協議により、会議の全部又は一部を公開しないことができる。
 - (1) 富山県情報公開条例(平成13年富山県条例第38号)第7条第5号に規定する非開示情報が含まれる事項に関して協議する場合
 - (2) 公開することにより、会議の公正が害されるおそれがあると認める場合
 - (3) その他公益上必要があると認められる場合
- 4 会長が、必要があると認めるときには、検討会議において関係者又は学識経験を有する者から意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 検討会議の庶務は、経営管理部学術振興課及び教育委員会教育みらい室県立高校改革推進課において処理する。

(細則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営について必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和7年5月9日から施行する。

新時代とやまハイスクール構想検討会議委員名簿

(令和 7 年 6 月 3 日現在)

(委員 17 名、敬称略)

	氏 名	委 員 の 所 属 等	備考
会長	新田 八朗	富山県知事	設置要綱 第 3 条第 1 項 による委員
	廣島 伸一	富山県教育長	
	坪池 宏	富山県教育委員（教育長職務代理者）	
	大西 ゆかり	富山県教育委員	
	黒田 卓	富山県教育委員	
	牧田 和樹	富山県教育委員	
	松岡 理	富山県教育委員	
	伊東 潤一郎	アイティオ(株) 代表取締役社長	設置要綱 第 3 条第 2 項 による委員
	佐伯 真未	富山県 P T A 連合会 副会長	
	品川 祐一郎	トヨタモビリティ富山(株) 代表取締役社長	
	白江 日呂雄	元 富山県中学校長会 会長	
	杉木 貴文	(株)Engames 代表取締役社長	
	南部 初世	名古屋大学大学院教育発達科学研究科 教授	
	能作 千春	(株)能作 代表取締役社長	
副会長	林 誠一	富山大学 学長特命補佐・客員教授	
	本江 孝一	元 富山県高等学校長協会 会長	
	松山 朋朗	富山県高等学校 P T A 連合会 顧問	